

二中の窓

2月号 2019. 2. 4(月)
箕面市立第二中学校



大変厳しい寒さの中、インフルエンザが流行しています。本校においても、うがいや手洗い、教室の定期的な換気等の指導を生徒たちに対して行っておりますが、ご家庭の方でも予防に向けての注意喚起をよろしくお願いいたします。また、1月19日(土)の新入生保護者説明会には、第66期生(新入生)の保護者の皆さまにお集まりいただき、地域や保護者のみなさまとの関係を大切にされた本校の教育活動を紹介いたしました。教職員一同、4月からの新たな出会いを楽しみに準備を進めております。入学式は4月8日(月)です。よろしくお願いいたします。

伝えたい命の大切さ～性教育・いのちの学習～



本校では、各学年と健康教育部が連携し、各学年の生徒の「性」に対する認識やその課題について情報を共有し、課題の解決に向けたとりくみを実施しています。3学期、子どもたちに「大切なこととして理解してほしい」という願いを込め、「性教育・いのちの学習」をそれぞれの学年で行っています。

温もいをつなぐ

健康教育部(養護教諭) 倉脇 洋子

去る1月16日、本校が2013年度より実施している性教育のカリキュラムの一環として、3年生を対象に「HIVと人権情報センター」の「ルンさん」こと尾澤るみ子さんによる「いのちの学習講演会」を持ちました。

尾澤さんは、性に関する相談や性感染症の検査をする日々のなかでの出来事を通し、性に関する知識だけでなく人との関係性についてもお話してくださいました。遠くない将来に出会うであろう課題についても生徒たちは考えることができました。

本校では、「性」を「生=いのち」と捉え「いのちの学習」として性教育を進めています。中学生のこの時期は、心が不安定になったり、性に対する関心が過度になったりする時期でもあり、心の醸成を伴う性教育が必要です。1年生では、受精により自らのいのちが誕生したことを科学的に学習します。学習を通じて、生徒たちは1個の精子と卵子の出会いのために用意された天文学的な細胞の数や子宮の中で起こる奇跡のようなドラマを知ります。また、出産の場面の文章を読むことで、性を大切なもの、価値あるものとして捉えていきます。2年生では、男女や個人の性意識の違いを知り、性行動には責任が伴うということ、性行動は自分の人生に大きな影響を与えるということを学んでいきます。

他者を愛し、お互いが理解し合い尊敬できる人間関係づくりを基本とするこの性教育においては、学校だけでなくご家庭の皆様の温かなまなざしがが必要です。学校とご家庭がともに子どもたちから心を離さないことが、おとなが子どもたちに与えられる最高のプレゼントではないかという思いを強くする今日この頃です。

1・3年生 「いのちの学習」生徒のふりかえり

<1年生>

- ・3億分の1というすごい確率で自分が生まれてくることに驚いた。「赤ちゃんが生まれるのはあたりまえ」、「自分がいるのはあたりまえ」と思っていたけど、決してそうではないことがわかった。
- ・自分だけでなく、他の人のことも考えて生活していこうと思いました。

<3年生>

- ・「4つのNO」について聞き、今のことだけでなく、これからどうなっていくかを考えて行動することが大事だと思いました。そして、確かな知識を持っておくことが一番の予防につながるということがわかりました。
- ・今日の話聞いて、エイズについて知ることができたし、自分のことを大切にしようと思いました。もし、困ったことがあっても、相談できる機関があることを知れて安心しました。
- ・正しい知識を身につけることが大事だと思いました。HIVに感染している人を避けるような間違った知識が無くなればよいと思いました。

2年生 百人一首大会

1月24日(木)に百人一首大会を行いました。この日に備えて、各クラスとも学活の時間に練習をしたり、冬休みに覚えたりして挑んだ当日。上の句を読み始めると同時に札をとる姿もたくさん見られるなど、各班一生懸命取り組むことができました。熱戦の結果、優勝は4組、最優秀班は3組1班という結果になりました。今のクラスで過ごすのもあと2か月。1日1日を大切に学校生活をおくりたいですね。



どの対戦も白熱しました

おしらせ

◆教育委員会・学校へのご意見・お問い合わせは、学校ホームページの「ご意見・お問い合わせフォーム」でも受け付けております。